

歯 科 口 腔 外 科

教 授 戸 塚 盛 雄
助 教 授 山 本 康 一
助 手 山 田 耕

◆ 学会報告

1) 太田真治, 小竹 彌, 星野照宗, 澤本正登, 田中慎二, 山田 耕, 山本康一: 当科における口腔悪性腫瘍の現況. 第1回北陸頭頸部腫瘍懇話会, 1982, 7, 富山.

2) 澤本正登, 太田真治, 星野照宗, 小竹 彌, 田中慎二, 山田 耕, 山本康一: 巨大な舌下顎下型ガマ腫の1例. 第36回北陸医学会総会臨床口腔外科分科会, 1982, 9, 富山.

3) 太田真治, 澤本正登, 星野照宗, 小竹 彌, 田中慎二, 山田 耕, 山本康一: D-P flap による二次的頬部再建を施行した頬粘膜癌症例. 第36回北陸医学会総会臨床口腔外科分科会, 1982, 9, 富山.

4) 山田 耕, 澤本正登, 太田真治, 星野照宗, 小竹 彌, 田中慎二, 山本康一: リンパ節トキソプラズマ症を疑わせた症例. 第36回北陸医学会総会臨床口腔外科分科会, 1982, 9, 富山.

5) 星野照宗, 澤本正登, 太田真治, 小竹 彌, 田中慎二, 山田 耕, 山本康一: 下顎骨関節突起部骨折に応用した臥床伸展術の6例. 第36回北陸医学会総会臨床口腔外科分科会, 1982, 9, 富山.

6) 小竹 彌, 澤本正登, 太田真治, 星野照宗, 田中慎二, 山田 耕, 山本康一: 腸骨移植により即時再建術を施行した Ameloblastoma. 第36回北陸医学会総会臨床口腔外科分科会, 1982, 9, 富山.

和 漢 診 療 部

助 教 授 寺 沢 捷 年
助 手 今 田 屋 章
助 手 土 佐 寛 順

◆ 著 書

1) 寺沢捷年: 東洋医学の考え方. 「死の臨床」池見西次郎他編, 39-51, 誠信書房, 1982.

2) 寺沢捷年: 和漢薬治療と疼痛. 日本医師会医学講座 138-141, 金原出版, 1982.

◆ 原 著

1) 寺沢捷年, 今田屋 章, 土佐寛順, 田中三千雄, 藤倉信一郎, 中野義澄: 結腸ポリポーシスを伴った緊張性筋ジストロフィーの1例. 千葉医学雑誌 58: 231-235, 1982.

2) 寺沢捷年, 今田屋 章, 土佐寛順, 伊藤 隆, 堀越 勇, 鳥居塚和生, 本間精一: 中枢および末梢神経疾患に伴う四肢寒冷症候に対する和漢薬治療. Proc. Symp. WAKAN-YAKU 15: 69-76, 1982.

3) 今田屋 章, 寺沢捷年, 土佐寛順, 伊藤 隆, 桜川信男, 高橋 薫: 慢性関節リウマチの和漢薬治療. Proc. Symp. WAKAN-YAKU 15: 207-215, 1982.

4) 桜川信男, 高橋 薫, 小林 収, 堀越 勇, 上野雅晴, 内山祐子, 寺沢捷年, 山本美智子: 和漢駆瘀血剤の血液学的検討. Proc. Symp. WAKAN-YAKU 15: 51-57, 1982.

5) 寺沢捷年, 奥田忠行, 村田みね子, 高橋 薫, 桜川信男, 土佐寛順, 今田屋 章: 二恒温室を用いた指尖容積脈波負荷試験法. 臨床病理 30: 195-198, 1982.

6) 土佐寛順, 寺沢捷年, 今田屋 章, 三瀧忠道, 松本みゆ紀: 胃内停水の研究(第1報). 日本東洋医学雑誌 33: 1-6, 1982.

7) 熊谷 朗, 笠貫順二, 寺沢捷年, 土佐寛順, 山本昌弘, 今田屋 章, 矢野三郎, 荻田善一: 生薬製剤“大峰胃腸丸”の臨床効果の研究. 薬理と治療 10: 5379-5386, 1982.

◆ 総 説

1) 寺沢捷年, 今田屋 章, 土佐寛順: これからの医学における「傷寒論」—医・薬学の方法論をもとめて—. 中医臨床(臨時増刊号, 日中傷寒論シンポジウム記念論集) 3: 369-378, 1982.

2) 寺沢捷年, 今田屋 章: 慢性関節リウマチの和漢薬治療. 医学と薬学 8: 422-429, 1982.

3) 伊藤達雄, 寺沢捷年: 一診断から薬剤選択へ—関節炎. 腱鞘炎, 総合臨床 31: 2618-2624, 1982.

4) 大谷克己, 田中宏一, 徳永 叡, 杉田昭栄, 寺沢捷年: コンピュータ断層に必要な人脳連続標本の作製と保存. 医学のあゆみ 123: 1079-1081, 1982.

◆ そ の 他

1) 清水岑夫, 寺沢捷年, 上野雅晴, 林 利光: 座談会“瘀血をめぐる”. 薬日新聞 1789号-1792号, 1982.

3) 寺沢捷年, 辻 陽雄: 骨・関節疾患のチェックポイント Q & A / Charcot-Marie-Tooths disease, 332-333, 日本メルク 萬有, 1982.

4) 寺沢捷年: 現代医療の中の漢方. 富山市商工労働部薬業課, 1982.